

いまこそ長谷川テルの声を全世界に

—第6回奈良・長谷川テル顕彰の会総会資料集—



黒田貴子先生の講演を聴く全国交流集会での参加者

2025年10月5日

奈良・長谷川テル顕彰の会

—第6回奈良・長谷川テル顕彰の会総会資料集—

目次案

- 1 第6回奈良・長谷川テル顕彰の会のご案内・・・・・・・・・・ 3 ページ
- 2 挨拶 宮城恭子奈良・長谷川テル顕彰の会々長・・・・・・・・・・ 4 ページ
- 3 第2回「長谷川テル訪問記念の碑」碑前祭へのあいさつ・祝辞とまとめ
 - ・宮城恭子会長挨拶・・・・・・・・・・ 5 ページ
 - ・工藤良任般若寺前住職祝辞
 - ・坂口紀代美氏祝辞
 - ・井口和子（湖山）氏祝辞
 - ・第2回「長谷川テル訪問記念の碑」碑前祭のまとめ
- 4 第6回奈良・長谷川テル顕彰の会総会への報告と提案・・・・・・・・ 9 ページ
- 5 「第2回日中不再戦 長谷川テル顕彰の旅」の実施について・・ 18 ページ
- 6 様々なスタイルでの「碑」訪問・発信続く・・・・・・・・・・ 25 ページ
- 7 奈良・長谷川テル顕彰の会のあゆみ・・・・・・・・・・ 29 ページ
- 8 奈良・長谷川テル顕彰の会会則の改定・・・・・・・・・・ 34 ページ
 - ・現行会則
 - ・改定案
- 9 奈良・長谷川テル顕彰の会呼びかけ人の皆さん・・・・・・・・・・ 37 ページ
- 10 奈良・長谷川テル顕彰の会の役員と推進委員・・・・・・・・・・ 39 ページ

奈良・長谷川テル顕彰の会々員各位

第6回「奈良・長谷川テル顕彰の会総会」へのご案内

猛暑が続いています。いかがお過ごしでしょうか。

5回総会（2024年9月6日）から1年が経過しました。第6回総会は、第2回「長谷川テル訪問記念の碑」碑前祭の成果を踏まえ、第3回「碑前祭」の開催の構想を検討すること、多面的に発展しつつある顕彰事業の到達を確認し更なる発展を期することが中心課題です。あわせて、2年後に迎える長谷川テル没80年記念行事の構想を検討します。

1 昨年4月30日に行った「碑」除幕式以降、全国の皆さんのご努力で、「碑」について、様々なスタイルで語り、宣伝・訪問をしていただいています。その規模の大小を問わず、事務局に寄せて頂いている取り組みは170件を超えています。

また、4月に発刊したブックレット『長谷川テル』は好評をいただき、一気に普及がすすみ、第2刷りの具体化が必要になっています。総会を機会に、「合評会」も行い、ブックレットの充実、普及の経験を交流し2刷りに備えます。さらに、10月13日に出発する「第2回日中不再戦 長谷川テル顕彰の旅 武漢・重慶6泊7日」には、29名の参加で行われる準備が進められています。

第6回総会は、以上の諸課題とあわせ、重要な課題として、発展しつつある奈良・長谷川テル顕彰の会に即した会則に改正することにあります。

第6回総会を下記の通り行います。ご多忙のところとは存じますが、ぜひご出席いただきますようお願いいたします。

記

1 と き 2025年10月5日（日）午後2時～

1 と ころ 奈良市中部公民館

1 第1部 総会

議 題 1 第6回総会への報告と提案についての討議

2 2024年度会計決算案 2025年度予算案 および会計諸

報告

3 奈良・長谷川テル顕彰の会の会則改正案の提案

4 その他

1 第2部 ブックレット『長谷川テル』の合評会

2025年8月5日

奈良・長谷川テル顕彰の会
会 長 宮城 恭子

ご挨拶

奈良・長谷川テル顕彰の会
会 長 宮城 恭子

市民参加の演劇や音楽会などの文化交流行事も企画したい

長く、暑かった2025年の夏もそろそろ終わりそうな気配を見せています。長谷川テル顕彰の会企画「第2回 日中不再戦・長谷川テル顕彰の旅 武漢・重慶6泊7日」の出発日が迫ってきました。

日ごろから、不定期ネッ刊行“ヴェルダ・マーヨ通信”を通して田辺事務局長の周到な準備と、それを支える顕彰の会会員とエスペランチストの皆さま方の熱意で素晴らしい旅の計画が出来上がりました。

私は個人的な諸事情で今回の旅にご一緒することを断念しましたが、この期に及んで、「奈良・長谷川テル顕彰の会」が大きく見事に脱皮・変身・成長していることを痛感し、驚いています。

大阪の力を借りながら、奈良という一地方における志を同じくするグループから出発した私たちは、テルさんを軸にした平和を願い、運動をする共同体へ成長変身する気配です。そこには奈良も大阪も京都も滋賀も東京も、中国に世界にも分断線はありません。

世界中で戦争の危機が懸念されている現在、テルさんの考えに学び、平和の中に人々が一人一人大切にされる世界、信頼と愛に満ちた世界、それを世界へ広めようとしている運動する共同体へ。

テルさんと共に歩む旅は終わりのない旅。世界中の人々と手を繋ぎ、「ここにあなた方の・私たちの敵はいません！」と叫び、平和の歌を謳い、おしゃべりしながら歩む旅にしていきたいものです。

当面テルさん没後80周年記念事業構想が出されていますが、私としてはこれに加えて市民参加型の（できれば、奈良女子大生や中国からの市民参加も得て）演劇や音楽会などの文化交流行事も企画したいところです。

3 第2回「長谷川テル訪問記念の碑」碑前祭へのあいさつ

祝辞とまとめ

碑前祭で主催者を代表して述べられた宮城恭子会長の挨拶を紹介します。



貴女の勇気ある行動に感動し、
その考えを発展させようと願う人々が集っています

奈良・長谷川テル顕彰の会々長 宮城恭子

第2回長谷川テルさんを顕彰する「般若寺訪問記念の碑、碑前祭」にお集まりいただきありがとうございます。毎年この時期には春の嵐に気を揉むのですが、今年は山吹の花は咲き誇っているものの・・・雨にも風にも気を揉みながら・・・

昨夜、テルさんに手紙を書きました。それを読み上げでご挨拶とさせていただきます。

長谷川テルさん

今日も私たちはここ般若寺にテルさんを訪ねてまいりました。「訪問記念の碑」制作者の坂口紀代美様、揮毫者の井口湖山様はじめ、テルさん顕彰の会のメンバー、それに奈良市だけではなく遠方からも来訪者が年ごとに増え、今年はすでに97名が参加を希望され

宮城恭子さん 集っています。

テルさん、貴女がここ般若寺で学友と抑圧的・閉塞的な社会のありようと闘おうと誓い合ったことが、繊細で多感な文学少女・長谷川テルさんを、平和の闘士へと変身させました。治安維持法に触れるとして、大学退学を余儀なくされることにひるむことなく、エスペラントを学び、社会運動と繋がり、劉仁さんと共に中国へ渡り、極貧の生活にもめげることなく世界の人々に向かい、日本の軍国主義の蛮行を糾弾し、「戦争ではなく平和を」、「世界の女性の地位向上を」と呼びかけました。貴方は劉仁さんと子ども2人を残し、あまりにも早く亡くなりました。

長谷川テルさん

貴方の勇気ある行動に感動し、貴方の願いに共感し、その考えを発展させようと願っている人々が集っています。私たちは、エスペランティストの方々とも交流し、学び友情をふかめ、ともに行動を始めています。

テルさんたちの命がけの闘いで「2度と戦争はしない」と誓った憲法9条を持っている日本は、自民党・公明党政権により、“戦争をしない国”から“戦争ができる国”に変えられようとしています。此处・般若寺から10kmの距離、京都精華町祝園にある自衛隊分

屯地の弾薬庫は、本州最大規模の大型弾薬庫の造成（８棟プラス６棟）が企画され、長距離ミサイル（トマホークや１・２式地对艦誘導弾能力向上型）が配備されようとしています。もちろん私たちは日本の軍国化に反対する運動を全国的に連携して繰り広げているところです。

「誰の子どもも殺さない、誰の子どもも殺させない」は、まさに命を守る、歴史や文化を大切にする、現代人の直面する最重要課題になっています。

先日、テルさんのブックレットを発行することができ、今日の碑前祭にご参加くださった方々にお渡しすることができました。秋には重慶・漢口へのスタディ・ツアーを企画しています。

テルさんを専門的に研究されている学者の方々は近くテルさんの全集を刊行されます。また奈良女子大学とも様々な課題で連携ができればと願っているところです。

テルさん

つい長々と報告してしまいました。おしゃべりをお許しください。

皆さんの平和への願いが、戦争への道を止めていただけますように

工藤良任般若寺前住職の祝辞

今日は大変足元の悪い中を、こんなに沢山の皆さんがご参加いただきましたことを本当にありがとうございます。長谷川テルさんが亡くなられてもう７８年になりました。



祝辞を述べる工藤良任師

日本が明治維新以降、近代歴史の中で何をしてきたかという、ほとんどアジア諸国を虐げる侵略の戦争であったと言うことですね。第２次世界大戦となって敗戦を迎えて８０年になります。

私達仏教に携わっている宗教者にとりまして、日本の過去の戦争ということは、恥ずかしいような過去の歴史を経てきています。

般若寺は高句麗の高僧慧灌法師が開いたと伝えられる

奈良は１３００年前に都がおかれた場所で、その都のいたるところに仏教の寺院が建てられていました。その中でも、般若寺は、古都奈良の北の端にありまして、『歴代記』『相統記』などのお寺の縁起録では、般若寺は高句麗の高僧慧灌法師がこの地に般若寺を開いたと伝えられています。台地の台を使って、中国にならって般若台と呼んでいました。慧灌法師は、日本に三論宗という仏教の教えを初めて伝えました。今でいう飛鳥寺は、飛鳥時代には法興寺といわれていました。奈良に移って元興寺と言っています。

慧灌法師はこの法興寺に入られたのですね。当時は、日本の仏教はほとんど学問的なものはありませんでした。慧灌法師が般若経にもとづいた空の教え、三論宗というお経を伝え

ました。日本の精神性の基を築かれました。

平安時代に、京都の平家と奈良の興福寺が諍いを起こし、奈良はとうとう平家の清盛の子ども・重衡の焼き討ちにあいました。4万の軍勢で攻められ、奈良の入り口にあった般若寺に火がつけられ、その火が東大寺、興福寺、元興寺に燃え移りことごとく焼き尽くしました。おそらくこの辺では、数千人の死傷者が出たと思われます。この辺は廃墟になりました。

仏教は、基本に生命の尊重、平和主義を掲げている

その後、廃墟の般若寺には、東大寺の再建のために中国の宋からやって来た石工の伊行末により、十三重の石塔がたてられました。その頃、般若寺は東大寺の配下になっており、寺の南側には川上の荘、北側には鳥羽の荘と言う東大寺の荘園がありました。

さらに、伽藍の復興があり、七堂伽藍が再建されました。その時以来、般若寺は西大寺に所属し、真言律宗のお寺になりました。

真言律宗は唐の鑑真和上が伝えてくれた大乘仏教の戒律を重んじています。大乘仏教には、新羅の国の最高の僧元がんぎょう暁が書いた『菩薩戒本』と言うお経の本があり、さらに、般若寺の真円が『菩薩戒本持犯要記』じぼんようぎという解説書を残しておられます。それが今も日本の『大蔵経』の中に残っており、般若寺にとって大きな誇りとなっております。

朝鮮の高句麗、新羅、そして中国の宋の国は日本にとって大恩人です。そういうところを侵略したり、植民地にしたりした大罪を犯したのが日本の近代史であったのであります。

仏教という宗教は、基本に生命の尊重、平和主義を掲げています。人を殺めたり動物をむやみに殺したりすることあってはならないと、お釈迦さんは戒めをあたえられたのですね。

仏教は平和が基礎になればならないと思っています。いま、世界中で紛争、あるいは戦争が頻繁に起こっており、日本もひきこまれるような危うい状況です。皆さんの平和への願いが、戦争への道を止めていただけますようにどうぞお願いいたします。

テルさんの山吹の碑のもと、 何度でも何度でも集まりましょう

碑前祭2周年祝辞

坂口紀代美

長谷川テル顕彰碑の制作をいたしました彫刻家の坂口紀代美でございます。この度は2回目の碑前祭開催、真におめでとうでございます。心よりお祝い申し上げます。

碑が建ちましてから2年の歳月が経ちました。ますます多くの方々が、般若寺に顕彰碑を觀に訪れてくださっています。また、テルさんを知ってくださる方々が、驚く勢いで増えてきています。皆様のご尽力の賜物だとおもいます。

約80年前に、奈良女子大に、はっきりと反戦を声にする女性がいたことに、皆さん驚きの声をあげておられます。物事を自分の目で見て、自分の心で判断する女性。先日、事務局の田辺さんが送ってくださった記事の中で、日本のジェンダーギャップが世界148国中、118位と書いてあるのを見て驚きました。高度経済成長を経



坂口紀代美さん

て、日本は先進国の仲間入りをしたのかと思いきや、意識が少しも更新されていなかったことに驚きです。

反戦という面からも、ジェンダーの意味からも、テルさんの存在は、今画期的なものになってきているのではないのでしょうか。テルさんと言う方は、自然体でいて、そういう方だったのだと思います。そこが素晴らしい！

今年は元旦明けから嬉しいびっくりがありました。私もコンビニに走りました。フェースブックに掲載しようと思ったら、大きな記事でびっくりしてしまいました。皆さんの活動が、毎日新聞の記者、鵜塚さんの目に留まり、大きく取り上げてくださいました。よかったですね。その記事に呼応して、読者の方の書かれたものも、本当に物事をよく考えておられます。「ひとりの力は微力だけれど、正しいと感じたら行動することが、必ず変化のための一助となる。テルの信念や行動力を受け継いでいかなくてはならない。」と書いておいでになりました。長崎の介護支援専門員の方でした。このシンプルな言葉だけれど、大人の私たちが社会に出ると実行出来なくなる。誰かの、何か大きな力に流されたり、飲み込まれたりしてしまう。

93年前、般若寺を訪れた奈良女子大の先輩、テルさんという女性が、すでに実行しているのですから、私たちもはっきり言葉を発するようにいたしましょう。それが、民主的な社会を作る基本かもしれません。

副事務局長の西さんからお聴きしています。皆さんが、ローテーションを組んで、テルさんの碑のお手入れをしてくださっていますね。テルさんも喜んでおいででしょう。

長谷川テルさんと劉仁さんのお墓に参拝

書家 井口和子(湖山)

生憎の悪天候にもかかわらず沢山の方々がお集まりになり、碑前祭が滞りなく行われましたことをご一緒に慶びたいと思います。

記念碑の文字を揮毫させていただいた井口和子です。書家で号は湖山です。

奈良教育大学特設書道科出身ですから、学生時代を奈良で過ごし、「蟻の会」合唱団にも加わっていましたが、長谷川テルさんのことはあまり知りませんでした。

卒業後、京都の府立高校で書道教師を務めました。58歳で早期退職し、出身校の大学

院修士課程を修了しました。ちょうどその頃、夫と共に戦中の満州開拓団の引揚者の方々と中国東北地域を旅することがあり、佳木斯市の烈士陵園にある長谷川テルさんと劉仁さんのお墓に参拝しました。

この時からテルさんのことを学び始めました。この旅のことは5年前に『ヴェルダ・マー



井口湖山さん

ヨ通信』に書かせていただきました。最近では、書家として作品「山吹燃ゆる」（自作のことば）をいくつかの展覧会で出品しています。

ここ十数年間、夫が瀋陽の東北大学に集中講義に出かける際には同行し、同大学教授の王秋菊先生や夫君の王希奇画伯（魯迅美術大学教授）ご一家と家族ぐるみの親交が続き、画伯の大作「1946」の日本での展覧会の開催のお手伝いもしています。この五月には、画伯の絵と私の書の二人展を瀋陽で開く予定です。

書作家活動を通じて、全世界の友好と平和、とりわけ日中両国人民の友好・平和に少しでも貢献できるよう努めていく所存です。

今年もまだウクライナ戦争は終わっていません。人間は、忘れやすい生き物ですから、テルさんの山吹の碑のもと、何度でも何度でも集まりましょう。そして、何度でも何度でもテルさんの決意を確認し、私たちも改めて強い決意を持って歩んでゆこうではありませんか。

第6回「奈良・長谷川テル顕彰の会総会」への報告と提案

2025年10月5日

奈良・長谷川テル顕彰の会
事務局長 田辺 実

はじめに

第5回総会（2024年9月28日）から1年が経過しました。第6回総会は、第2回「長谷川テル訪問記念の碑」碑前祭の成果を踏まえ、第3回「碑前祭」の開催の構想を検討すること、多面的に発展しつつある顕彰事業の到達を確認し、更なる発展を期すことが中心課題です。あわせて、「長谷川テル没後80年記念行事構想案」を検討します。

一昨年4月30日に行った「碑」除幕式以降、全国の皆さんのご努力で、「碑」について、様々なスタイルで語り、宣伝・訪問をしていただいています。その規模の大小を問わず、事務局に寄せて頂いている取り組みは170件を超えています。

また、4月に発刊したブックレット『長谷川テル』は好評をいただき、一気に普及がすすみ、第2刷りの具体化が必要になっています。総会を機会に、「合評会」を行い、ブッ

クレットの充実、普及の経験を交流し第2刷りに備えます。さらに、10月13日に出発する「第2回日中不再戦 長谷川テル顕彰の旅 武漢・重慶6泊7日」は、29名の参加で行う準備が進められています。

第6回総会は、以上の諸課題とあわせ、重要な課題として、発展しつつある奈良・長谷川テル顕彰の会に即した会則に改正することがあります。

I 第2回「長谷川テル訪問記念の碑」碑前祭のまとめ

4月13日に開催した第2回「長谷川テル訪問記念の碑」碑前祭は、長谷川テル顕彰事業の新たな発展の可能性を生み出し重要な成果を収め成功しました。碑前祭には98名、全国交流集会には74名、懇親会には49名の参加がありました。

310名に案内し、「顕彰事業推進募金」を訴えたところ、56名から一言メッセージが寄せられ、顕彰事業推進募金には106名から合計707,018円の募金が寄せられました。

第2回碑前祭（全国交流集会、懇親会を含む）全体を振り返り、内容をまとめ今後の方針・展望について検討します。

この間、碑前祭全体について（「ヴェルダ・マーヨ通信」N0.60）、黒田貴子先生の記念講演の特集（N0.61）、ブックレット『長谷川テル』についての特集（N0.62）、N0.63では、碑前祭での工藤良任般若寺前住職の祝辞、井口湖山氏の祝辞と碑前祭に寄せられたメッセージ等を掲載しました。

碑前祭の機会に発表した「第2回日中不再戦—長谷川テル顕彰の旅 武漢・重慶6泊7日の旅」への参加申し込みは、9月15日現在29名になっており、武漢・重慶のエスペランティストとの充実した交流が実現する見通しが立っています。

長谷川テル顕彰事業は、“台湾有事”がことさら喧伝され、“新しい戦前”否“新しい戦中”を許さないため、日中不再戦の誓いを今こそ全国的な声にする一端を担う運動に発展させる立場で取り組みをさらに進めましょう。

第2回碑前祭の成功と長谷川テル顕彰事業の発展の要因について

第2回「長谷川テル訪問記念の碑」碑前祭の成功を確認するとともに、碑前祭の成功の要因と教訓を明らかにし、長谷川テル顕彰事業の一層の発展の方向を検討することが求められています。ここで、「碑前祭」という場合、般若寺境内における碑前の行事、全国交流集会および懇親会の全体を意味します。

「第2回長谷川テル碑前祭、それに続く、全国交流集会のご盛会ぶりは、顕彰事業の年々の全国への広がりや深化とを如実にものがたる」（山本恒人日中友好協会大阪府連会長談）など、共感・感動の輪が広がっています。

黒田先生の講演を聴いて、「黒田先生、是非長野県に来て下さい」と発言された沓掛朗美氏は、「『加担・抵抗』の2点については意識したことがほとんどありませんでした。

もっと学びたいと思いました。」などの感想を寄せられています。

4月13日の碑前祭にお披露目したブックレット『長谷川テル 戦火の中国で自由と平和を求めたエスペランチスト』は、「ブックレット発刊は奈良・顕彰の会の豊かな発展を象徴するもの」などの評価をいただき注文があいついでいます。9月15日までの普及状況は、別紙「ブックレット『長谷川テル』合評会資料集」の通りです。

湯川誼氏（御殿場市）は、「自分は会員だと思っていた。会員が36名とは少ない、入会し東日本でも長谷川テル顕彰の会を結成したい。」と言いながら入会していただきました。第2回碑前祭を契機に入会していただいた方は現在のところ、湯川氏、三好裕策氏（ヒマラヤ杉の会・名古屋市）、岸下あづみ氏（奈良女子大学卒、京都市）、小林将夫氏（京田辺市）の4名ではありますが、訴え方いかんによっては会員が増える条件は大きく広がっています。

今後は2年先（2027年）が長谷川テル・劉仁没後80周年を見据えて、第2回碑前祭の成功と長谷川テル顕彰事業の発展の要因を明確にし、長谷川テル顕彰事業に繋がる全ての皆さんの意見、要望を伺いながら新たに発展の方向を模索・検討しましょう。

●長谷川テル顕彰事業が発展している要因の根本と教訓

長谷川テル顕彰事業が発展している要因の根本に「長谷川テルの偉大さ・魅力」があります。また、米中対立の激化のなかで、アメリカの言いなりに大軍拡をすすめ敵基地攻撃能力の保有など戦争する準備が公然と進められる状況のなかで、日中不再戦の機運の高まりとその切実性の高まりの中で長谷川テルの精神が大きな励みになっていることの反映です。同時に、様々な取り組みの教訓があることをあらためて明らかにすることが重要です。

また、その前提として、碑の用地を提供していただいている般若寺と、長谷川テルの遺族との連携の重要性を明確にしておくことが重要です。

その上で、第1に、戦後、主としてエスペランチストが長谷川テルの作品集を紹介したり、評伝をまとめたことを中心に顕彰事業をすすめてこられてきました。私たちは、それらから繰り返し学びながら、奈良県での事績を調査研究する努力を行ってきました。

第2に、戦後を長いスパンで振り返ると、個人または、グループが長谷川テルに強い関心を持ち、調査・研究をすすめ、その結果として、ジャムス市にある長谷川テルと劉仁のお墓参りをしておられることです。奈良女子大卒業生のグループや、日中大阪府連、一橋大学ゼミ仲間などその幾つかのグループとの交流が実現しています。

第3に、長谷川テルの事績の評価の上にたって、劇化したり朗読劇を上演したりしている団体・グループがあることです。東大阪市の劇団息吹、奈良女子大学卒業生の名古屋市のグループや、滋賀県長浜市の高校教員などです。

第4は、平和教育のなかで、被害と加害だけでなく抵抗した人々がいたこと、その中で長谷川テルをクローズアップされている教員もおられることです。その典型が黒田貴子先

生の教育実践です。こうした取り組みを行ってきた人々との交流を重視してきたことです。

第5は、長谷川テルの事績を題材にした歌が作詞・作曲されて、様々な機会に歌われたり、詩作品や短歌に結晶した人々がいるなど、様々なジャンルで作品化されているということです。歌で言えば、治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟奈良県本部の要請を受けて「希望の鳩 ヴェルダ・マーヨ-長谷川テルの歌」を作詞・作曲したシンガーソングライター・ケイ・シュガーさんなどです。

第6は、資料館、博物館のなかに長谷川テルが位置付けられ、資料の収集展示、閲覧がなされていることです。奈良女子大学附属図書館や佐保会館だけでなく、横浜市や甲府市にもあります。

私たちの取り組みが進めば、もっと多様な取り組みが過去になされたことも発掘されるでしょう。また、現実に取り組みまれておられるであろう方々との連携が発展するに違いありません。

さらに、長谷川テルが活躍した中国ではもっと豊富に取り組みがなされてきたに違いありません。また、奈良・長谷川テル顕彰の会が行う第2回日中不再戦・長谷川テル顕彰の旅などを通じて、中国のエスペランチストの皆さんとの交流を通じて様々な可能性が期待されます。

2023年4月30日に、「長谷川テル訪問記念の碑」の建立が実現し、この碑の宣伝と訪問する取り組みを中心に長谷川テル顕彰事業の新たな発展がみられます。この2年間で、様々な形・規模がありますが、事務局に報告されているだけでも170件を超えています。

Ⅱ 長谷川テル顕彰事業の更なる発展を目指す当面の方針と展望

第2回碑前祭の成果の上になって、長谷川テル顕彰事業の更なる発展を目指す当面の方針と展望を、第2回碑前祭の際に行われた全国交流集会に報告提案した内容の趣旨に沿って検討します。

1 長谷川テル・ブックレットとテルに関する各種出版物について

●ブックレットの普及状況

別紙別紙「ブックレット『長谷川テル』合評会資料集」の通りです。なお、制作費の支払いは、募金等で賄うことができました。

●高い評価をいただいている

「自分の生き方を貫き通した強さには感服」、「ヴェルダ・マーヨの歌に、反戦平和の願いを託して歌い続ける」、「ブックレット『長谷川テル-戦火の中国で自由と平和を求めたエスペランチスト』の発刊は奈良・顕彰の会の豊かな発展を象徴するもの」など、4

月13日に開いた、第2回「長谷川テル訪問記念の碑」碑前祭を記念して発売したブックレット『長谷川テル』に対する感想が寄せられています。

また、ブックレットの執筆にあたった岸下あづみ氏らからも、「女子大生にも手にしてもらえよう表紙のデザインに工夫しました。」、「読みやすさにも努力しました。」などの想いも書いていただきました。これらの内容は、「ヴェルダ・マーヨ通信」NO.62に特集しました。

●長谷川テル顕彰事業の発展に大きな力

奈良・長谷川テル顕彰の会は、「長谷川テル訪問記念の碑」の完成を成し遂げた次の重要課題の一つとして、ブックレット『長谷川テル』の制作をめざしてきました。『長谷川テル』は、長谷川テルに関わる新たに検出することができた第一次史料も駆使し、新たな評伝を世に伝える内容となっています。同時に、「長谷川テル訪問記念の碑」の建立に至る経緯と顕彰事業の内容、般若寺との所縁など、ハンディな総合的なガイドブックとして大きな力を発揮することを期待しています。

「記念の碑」は、般若寺境内にあって、全世界にむかって長谷川テルの気高い平和の訴えを発信し続ける一方、ブックレットは広く普及されることによって、長谷川テルの事績を詳しく伝える役割を果たすに違いありません。「記念碑」も、ブックレットも全国の多くの方の募金によって支えられ実現しました。第2回碑前祭にあたって、「長谷川テル顕彰事業推進募金」にご協力を頂いた方には、贈呈する措置を取らせていただいています。

前述のように、ブックレットは高い評価をえて普及・活用もスムーズに進んでいます。

「しんぶん赤旗」の読書欄で紹介される

「しんぶん赤旗」の読書欄でブックレットが紹介されたことで、これまでに11件37冊の注文が寄せられています。

「ぷらっとほ一む奈良」（代表 中西巖氏）の集会（5月28日）

「ぷらっとほ一む奈良」（代表中西巖氏）がブックレットの普及に協力を申し出ていただきました。5月28日に開かれた集会には、西久美子推進委員が講演を行いました。ここでは、ブックレットが8冊普及できました。

いずれ、2刷りが必要になっています。感想・意見を述べ合う合評会を、第6回総会と併せて行い第2刷りに備えます。

本体価格を1000円とします。普及のため5冊以上普及していただける方には1冊800円でお渡しします。

将来、エスペラント版、中国語版の出版も検討します。

長谷川テルに関わる各種出版物の思い切った普及を

顕彰の会としては、第2回碑前祭を期して、「ヴェルダ・マーヨ通信」合本第二集の完成もめざしてきました。しかし、「第二集」は、碑前祭には間に合いませんでした。近く完成予定です。完成しましたら、「ヴェルダ・マーヨ通信」等でお知らせいたします。その節は、普及にご協力をお願いします。

ブックレットに加えて、大月書店から出版された『治安維持法100年』には長谷川テルの評伝・顕彰の会の取り組みが掲載されています。また、カナダのアダム・クプロウスキーさんの英文『長谷川テル作品集』（「Hasegawa Teru Whispers from a Storm」ハワイ大学出版局）が出版されました。

また、長谷川テル研究会が編集作業をすすめている『長谷川テル著作集』が近く刊行されます。これらの刊行物の普及にも力を注ぎましょう。奈良・長谷川テル顕彰の会としては、50冊の普及をめざします。

長谷川テル関連の書籍の普及

『長谷川テル』（せせらぎ出版）、復刻版『二つの祖国の狭間に生きる』（長谷川暁子せせらぎ出版）などの普及。著者である暁子さんは、「復刻版出版にあたって」に、「現実には国や民族は、苦痛をともなうものだとしても、事実から目をそらすべきではないでしょう。」と述べられています。これらの書籍は、機会あるごとに宣伝し普及に努力します。ヴェルダ・マーヨ通信に感想等も載せる努力をします。

2 中国・武漢、重慶への旅の計画と国際交流の促進について

1 昨年4月、除幕式に参加するために、重慶のエスペランチスト・趙德智氏らの来寧を機に、中国重慶のエスペランチストとの交流の道が開かれました。また、西田千津氏と竹森浩俊氏らが昨年4月に重慶への旅を実行されたことで、さらに重慶への旅の具体化に拍車がかかりました。今回、以上の経緯をふまえ、奈良・長谷川テル顕彰の会は、この10月に、「第2回日中不再戦 長谷川テル顕彰の旅 武漢・重慶6泊7日」を実行します。

この旅行については、当「資料集」の「5」で、その内容を詳しく掲載します。

また、将来、長谷川テルの墓参を実行することを検討します。

3 青少年、若い人に引き継ぐ努力

昨年の第1回碑前祭で、若い人たち、次世代に長谷川テルの顕彰事業を伝え継承することの重要性が議論されました。これまで、小学校高学年・中学生向けの本の出版について希望が述べられ、その一環として大門高子氏に要請しているところです。

また、第1回碑前祭では、黒田貴子氏の中学生を対象にした教育実践に注目しました。その内容を、「ヴェルダ・マーヨ通信」N0.56で特集を行いました。そして、この第2回碑前祭の「全国交流集会」で、記念講演を行っていただきました。次世代に引き継ぐヒン

トに満ちた内容で、参加者の共感を呼びました。この記念講演の内容は「ヴェルダ・マーヨ通信」N0. 61で特集しました。なお、ブックレットは、若い人々にも普及できるように工夫をしています。

4 顕彰事業の中核的な推進力である会員を100名に拡大しよう

奈良・長谷川テル顕彰の会の推進力は、奈良・長谷川テル顕彰の会の会員です。したがって、いろいろな機会に繋がりを広げ、入会を訴えて、奈良県内外（大阪を除く）で会員の拡大をはたらきかけましょう。

昨年の碑前祭の準備の中で、滋賀県の檜山秋彦氏、島田耕氏と生駒市の稲次征人氏の3人に入会していただきました。また、碑前祭の当日、埼玉県の小室仁弥氏、奈良市の佐々木茂純氏と山下善昭氏に入会していただきました。さらに、6月9日に行った長浜市のエスペラントの会の方を中心に5名の方が入会していただきました。

第2回碑前祭以後、4名の方が入会していただきました。現在、会員は40名に前進しました。御殿場市の湯川誼氏は、「会員が36名と聞いて少ないように思う、自分は会員だと思っていた」と、言いながら入会していただきました。これまで、呼びかけ人の一人だった岸下あづみさんは、「呼びかけ人と会員では違うのですか」と言いながら、入会を了解していただきました。ヒマラヤ杉の会の三好裕策氏が入会の呼びかけに応じて快く入会して下さいました。ブックレットの普及、武漢・重慶への旅の取り組みなどのなかで、顕彰事業の中核的な推進力である顕彰の会に積極的に入会を呼びかけ当面100名の会員に発展させましょう。

「ヴェルダ・マーヨ通信」の受信者、ブックレットで繋がった人々、武漢・重慶への旅への参加者に積極的に入会を呼びかけます。

5 会の会計について

奈良・長谷川テル顕彰の会の日常的な運営は会費によって、諸事業は募金によって賄われます。第1回碑前祭の案内と併せて、顕彰事業推進募金を訴えました。訴えに対して、106名から合計476、000円の募金がよせられました。

また、第2回碑前祭に際して訴えた募金に対して、106名から合計707,018円の募金が寄せられました。これによって、「ブックレット」の制作費を期日内に支払うことが可能となり、「ヴェルダ・マーヨ通信」の合本第2集の制作など顕彰事業の推進が可能となりました。改めて心からお礼申し上げます。「ヴェルダ・マーヨ通信」N0.62に、募金に応じて頂いた方のご芳名を記しお礼に代えさせて頂きました。また、別紙「ブックレット『長谷川テル』合評会資料集」に再掲しました。

2024年一般会計決算案、2025年一般会計予算案等は別途提出しています。

6 「碑」のメンテナンスについて

「碑」用地の雑草の除去など、会の中で、ローテーションを組み、順次実行してきました。引き続き、取り組みを進めます。

7 長谷川テルに関わる年内の諸計画について

長谷川テルに関わる諸計画が次々と企画されています。テル顕彰の会は可能な限り積極的にこれらの取り組みに参加するよう努力します。

- ・10月13日発「第2回日中不再戦長谷川テル顕彰の旅 武漢・重慶6泊7日」

- ・治安維持法・京都学連事件100周年事業実行委員会の呼びかけ

開催日時：2025年12月13日（土）午後1時半から5時

- ・12月20日（土）午後 「Peace Concert in NARA」 いかるがホール

希望の鳩 ヴェルダ・マヨール長谷川テルの歌などを合唱

8 従来設定していたが足踏みしている課題で、当面の課題として位置付けて推進するテーマ

イ) 奈良女子大学、佐保会、研究所との協力・共同

コロナ禍もあり、研究所との交流を希望していましたが、延び延びになってきました。『奈良女子高等師範学校とアジアの留学生』の編集者である奈良女子大学アジア・ジェンダー文化学研究センターの野村鮎子教授との懇談の実現を目指します。

また、佐保会を訪ね、長谷川テルに関わる文献・資料の閲覧をさせてもらう機会を設けます。このことを通じて、協力・共同の内容とその可能性を模索します。

9 新たに設定して推進するテーマ

イ) 長谷川テルが、思想的発展を遂げた奈良の地にちなんだ演劇の上演をめざす。

- ・シナリオの制作に着手する（脚本家を募る）。
- ・上演する劇団を募る
- ・上演の計画を確定しその実現をめざす。

ロ) 全国各地で進められる長谷川テルの顕彰活動と協力・共同の取組の推進

全国各地で進められる長谷川テルの顕彰活動と協力・共同して調査・研究をすすめ顕彰事業を進める。これら、全体を総合的にすすめる全国的なネットワークが立ち上がることを期待します。

ハ) 奈良大学博物館所蔵の長谷川テル関連文献・資料を閲覧する。

奈良大学博物館には、長谷川テルらとエスペラントを学び、戦後は長谷川暁子さんと面談したことがある北村信昭文庫が所蔵されています。貴重な資料が所蔵されていると期待しています。

ニ) 長谷川テルゆかりの地、施設の訪問の実施など

山梨県平和ミュージアムへの訪問・交流、横浜エスプラントミュージアムの訪問など、長谷川テルゆかりの地、施設の訪問。

以上の諸課題を、同時的に推進を図るように心がけてきましたが、内容・課題によっては足踏みしているものもあります。それぞれの現状を踏まえ、一つ一つ目配りして、実現の時期がずれたとしても、長期的な展望をもって総合的に推進するよう心がけます。

大門高子氏の計画と樋口香織氏の計画について

小学生高学年・中学生を対象にした作品の制作について、黒田貴子氏を通じて大門高子氏に構想を練って頂いています。

それとは別に、ケイ・シュガー氏から昨年11月4日次のような連絡をいただきました。

「大阪多喜二祭事務局メンバー仲間で、大阪の劇団で脚本を担当していた樋口香織さんが、長谷川テルのことを朗読劇にしたいと言っています。また具体化したらお知らせします。」と。この計画は、大門氏の構想とは違いますが、全く無関係ではありません。

ケイ・シュガー氏から、朗読劇の創作を考えていると連絡を受けている樋口香織さんに、顕彰の会として一度お目にかかり、どのような構想を持っておられるのかを伺うなど懇談を持ちたい旨、ケイ・シュガー氏に連絡します。

また、「朗読劇」という点では、既に山本恒人作、劇団息吹が既に上演されていることも考慮に入れておくことも必要と思います。

10 治安維持法・京都学連事件100周年事業実行委員会の呼びかけ

▽開催日時：2025年12月13日（土）午後1時半から5時

▽場所：立命館大学朱雀キャンパス（JR二条駅近く）

▽内容：戦前戦中の反戦反ファッショ闘争について報告（各20分程度）

- ①エスペランチストで中国から反戦ラジオ放送を行った長谷川テルの国境を越えた活動（報告者・奈良・長谷川テル顕彰の会）
- ②京都学連事件のリーダー、淡徳三郎のフランスでの人民戦線について日本に送信した活動とそれを受けた日本国内での運動（担当・京都）
- ③大衆的な反戦反ファッショの学生運動を展開した大阪商大事件（担当・広川禎秀大阪市立大名誉教授）

京都学連事件についてはコーディネーター（勝村誠・立命館大学政策科学部教授を想定）が20分程度報告します。

奈良・長谷川テル顕彰の会の報告は西田千津氏が行います。

11 ホームページの積極的活用の検討

ホームページの開設は、長谷川テル顕彰事業の全国的・国際的窓口の役割を果たしてきま

した。カナダのアダムさん、名古屋工業大学のエサティエ氏、オックスフォード大学の研究者・森川・フーケ氏らは、ホームページから顕彰の会へのアプローチがありました。このホームページの内容の充実・活用が求められています。

最近、内容を更新・充実する努力が強化されていますが、引き続き広く意見・要望をいただき更なる充実をめざします。

●以上の諸課題を、同時的に推進を図るように心がけてきましたが、内容・課題によっては足踏みしているものもあります。それぞれの現状を踏まえ、一つ一つ目配りして、実現の時期がずれたとしても、長期的な展望をもって総合的に推進するよう心がけます。

Ⅲ 第3回「長谷川テル訪問記念の碑」碑前祭の開催について

第3回「長谷川テル訪問記念の碑」碑前祭の開催については次の構想に基づいて実施します。

- ・開催日 2026年4月19日（日）
- ・第1部 碑前祭の会場は般若寺境内
- ・第2部 全国交流集会
- ・懇親会 全国交流集会後開催する

以上の構想にもとづいてこれまでの除幕式、第2回碑前祭の経験をふまえ具体化します。

Ⅳ 長谷川テル没後80年記念行事構想案

2027年1月11日は、長谷川テルが亡くなって80年忌となります。

- ・没後80年プレ企画として2026年の適切な時期に山梨県大月市の生誕の地訪問
- ・没後80年追悼集会を兼ねて第4回碑前祭（4月）
- ・第3回日中不再戦 長谷川テル顕彰の旅 ジャムス5泊6日
- ・これらの取り組みを通じ、武漢、重慶、ジャムスのエスペランチストや全世界のエスペランチストとの交流を広げ・強める努力を重ねます。
- ・以上を骨格としつつ、全国的に提案を募り可能な課題を設定して具体化する。

5 「第2回日中不再戦 長谷川テル顕彰の旅」の実施について

「結団式」を開催（9月13日）

奈良・長谷川テル顕彰の会が企画した「第2回日中不再戦 長谷川テル顕彰の旅 武漢・重慶6泊7日」（以下「武漢・重慶への旅」）の結団式が9月13日、奈良市中部公民館で行われました。10月13日に出発します。

長谷川テルのゆかりの地、武漢、重慶を訪ね、当地のエスペランチストと交流、日本軍がおこなった重慶爆撃の被害者・支援者団体を訪問、重慶人民対外協会を訪れ日

中友好に資することを目的としています。

9月13日に行った結団式には、リモート参加者9名を含め、26名が参加しました。竹森浩俊奈良・長谷川テル顕彰の会推進委員・奈良エスペランセ会々会長に団長をお願いするなどの団の構成が紹介された後、参加者が自己紹介を行いました。

続いて、竹森浩俊団長と、西田千津副団長が事前学習の話をを行い、J U観光の尾川理江氏が旅程等について説明を行いました。

結団式には、宮城恭子奈良・長谷川テル顕彰の会会長と山本恒人日中大阪府連会長が出席し、激励しました。

今回の「武漢・重慶への旅」は、一昨年4月、除幕式に参加するために、重慶のエ



スペランチスト・趙徳智氏らの来寧を機に、中国重慶のエスペランチストとの交流の道が開かれたことが重要な契機となっています。また、西田千津氏と竹森浩俊氏らが昨年4月に重慶への旅を実行さ

れたことで、さらに重慶への旅の具体化に拍車がかかりました。

2018年に行った、「日中不再戦 長谷川テル顕彰の旅 ジャム市墓参の旅」に比して、顕彰活動の発展を反映して重要な発展があります。

①団の構成は前回25名から29名となり、内9名がエスペランチストで、「第1回」とは根本的に違います。前回は、主として奈良県と大阪府からの参加者でしたが、今回は全国的に広がりました。

②また、訪問・懇談する対象に重要な変化・発展があります。前回は墓参と、ジャムス市政府だけでしたが、今回は長谷川テルに所縁のある湖北省エスペラント協会、重慶エスペラント協会、重慶爆撃被害者の会、重慶対外協会などとの懇談・交流と長谷川テル所縁の複数の施設の訪問を実行します。

また、台湾有事がことさら喧伝され、日本国政府がアメリカの指揮のもとに、敵基地攻撃能力の保有、大軍拡を具体的に進める状況の下で、「日中不再戦」のスローガンが、より切実な課題となっている状況下での旅となっています。

長谷川テルさんは皆さんをどんな気持ちで迎えてくれるでしょう

結団式閉会のご挨拶

いよいよ「第2回日中不再戦・長谷川テル顕彰の重慶・武漢の旅」ご出発ですね。私も

体調さえ良ければ皆さんとご一緒したかったです。

戦後 80 年・中国の抗日戦争勝利 80 年の年に、この顕彰の旅が行われること、ヴェルダマーヨ・長谷川テルさんは皆さんをどんな気持ちで迎えてくれるでしょう。

1945 年 8 月 15 日、昭和天皇の敗戦の詔勅と鈴木内閣の文書を一読したテルさんは「ご覧ください。日本のファシストたちは 4 年間の＜大東亜戦争＞の敗北を述べているだけで、日中戦争の失敗を全く認めておりません。彼らは 8 年来、中国人民に加えた大きな血の債務については黙殺しているのです」と厳しく批判。日本の軍部政権による第二次世界大戦の歪んだ終え方によって、日本が大きな「欠落」をかかえたまま戦後を歩まざるをえない、と指摘した意味を、改めてしっかり噛み締め、受けとめることが大切です。

私たち一人一人が、主体的に平和憲法を守りぬき、歴史修正主義と大軍拡を許さない立場を固め、勇気をもって反戦平和のための国民運動を推進する担い手となることこそ、長谷川テル女史の懸念と希望とに答えることになるのではないのでしょうか。竹森団長、田辺事務局長以下 29 名の顕彰訪中団の方々はその先頭に立って下さっています。拍手でエールを送り、結団式を終えたいと存じます。

2025 年 9 月 13 日

日中友好協会大阪府連合会会長 山本恒人

長谷川暁子さんのメッセージ（西田千津氏を通じて）

みなさま、今日、暁子さんから、10 月の旅行にあたって、温かいメッセージをいただきましたのでお伝えします。おおざっぱですが日本語訳を試みました。結団式にご紹介できたらと思います。

西田千津

誠致秋季问候！ 原计划十月份的武汉重庆访问临近了，开始做准备了吧？今年中国方面是抗战胜利八十周年，据说有许多纪念活动。9.3 阅兵大典、《南京照相馆》（已在北美放映）、《731》（订于九月十八日世界播放）、《东极岛·里斯本丸の沉没》（已在有关的英国放映）等由二战期间随军记者们的照片、摄影、报刊暴露日军罪行的实录编辑成的影片陆续放映。但愿是有意义的历史性活动。今年八月十五日我把大阪府联合会、奈良表彰会、关西世界语协会的近年反战活动有关资料转发给中国世界语协会，是想告诉人们：在日本也有许多有良知和正义感的友人为和平友好不懈地努力着！予祝妳十月访中顺利愉快！代我问候山本先生、田辺先生及其他友人

日本にも良識と正義感をもつ多くの友人が平和と友好のために

たゆまぬ努力を続けている！

初秋の候、10 月の武漢重慶訪問も近づいてきましたね。もう準備を始めておられるの

でしょうか？今年は、中国は、抗戦勝利80周年で、たくさんの記念活動があります。

9. 3軍事パレード、『南京写真館』（北米ではすでに放映されています）、『731』（9月18日に世界中で放映されるよていです）、『東極島・リスボン丸沈没』（関係のあるイギリスですでに放映）等、第二次大戦中の従軍記者たちの写真、撮影、新聞・雑誌が日本軍の罪行の実録を編集し映画にして次々と放映しています。意義のある歴史的な活動でありますことを願います。

今年8月15日、私は、（日中）大阪府連合会、奈良の顕彰の会、関西エスペラント連盟の近年の反戦活動に関連する資料を、中国エスペラント協会に送りました。それは、日本にも良識と正義感をもつ多くの友人が平和と友好のためにたゆまぬ努力を続けている！ということの人々に知らせたかったのです。10月の中国訪問が順調で楽しいものになりますようお祈り申し上げます！山本先生、それから友人たちにどうかよろしくとお伝えください。

中国湖北省エスペラント協会・重慶エスペラント協会等との交流・懇談の計画

今回の「武漢・重慶への旅」では、湖北省エスペラント協会、重慶エスペラント協会、本軍がおこなった重慶爆撃の被害者・支援者団体を訪問、重慶人民対外協会との懇談・交流を行います。それぞれ、4団体に、「交流・懇談のお願い」を行っています。趣旨は、ほぼ同じですので、ここでは重慶エスペラント協会に提出した「交流・懇談のお願い」を掲載します。

重慶エスペラント協会 御中

重慶訪問に際しての交流・懇談のお願い

2025年9月1日

長谷川テル顕彰の旅 武漢・重慶訪問団

団長 竹森浩俊

私は「奈良・長谷川テル顕彰の会」が主催する「第2回日中不再戦 長谷川テル顕彰の旅 武漢・重慶訪問団」の団長で竹森浩俊と申します。私たちは2025年10月13日～19日に武漢・重慶を訪問いたしますが、この際、貴重慶エスペラント協会の皆様と懇談・交流致したく、この書簡を差し上げます。

重慶市は、エスペランチスト長谷川テルが1938年～1945年まで滞在し、日本軍に向かって抗日反戦を訴えるとともに、エスペラントを活用し、世界に中国における日本軍の蛮行を伝えるなど多面的に活動した都市です。重慶市では、緑川英子・劉仁旧居・反攻雑誌社旧址、特園、国際宣伝処跡等を訪ねます。また、重慶爆撃被害者の方々との懇談を行うとともに、重慶人民対外協会への表敬訪問も予定しています。

なお、私たちは、武漢滞在時、武漢エスペラント協会の皆様との懇談・交流を予定して

います。

私たちの旅行全体を通じて、日中不再戦の立場にたって、かつて日本軍が貴中国に対して侵略し多大な被害をもたらしたことに対する心からのお詫びの意を表すととともに、日中両国民が市民レベルで交流を深めたいと希望しています。

以下、私たちテルの会の紹介、活動の趣旨とその内容等を述べ、貴武漢エスペラント協会との懇談・交流の機会を与えていただくことを心よりお願い申し上げます。

奈良・長谷川テル顕彰の会の自己紹介および活動の趣旨等

1930年代から第2次世界大戦で日本軍部が貴国中国をはじめアジア諸国を侵略し、あるいは、植民地支配し、多くの人々を殺戮し筆舌に尽くしがたい被害をもたらした時期に、中国に渡り日本人女性として、日本兵士に対して抗日反戦を訴えたエスペランチスト長谷川テル（中国名：緑川英子）の功績を顕彰する活動をすすめてきました。

私たちは、長谷川テルの事績を研究し、その思想を学び今に生かし語り継ぎ、市民レベルの真の日中友好・親善を推進することは、日中不再戦の誓いを固め、北東アジアの平和の確立の運動に貢献すると確信いたします。

長谷川テルは、奈良女子高等師範学校に学んでいましたが、当時の軍国主義日本の抑圧的社会のあり様に抗って、当時の労働運動、農民運動と交流を始めた矢先に、1932年9月、治安維持法違反容疑で検挙され、同校を退学余儀なくさせられました。

本ツアーの提唱団体である「テルの会」は、2017年5月26日に発足しました。私たちテルの会は、多くの日本国の皆さんから支援をいただき、2023年4月30日には、古都・奈良市に立地する古刹般若寺境内に建立した「長谷川テル訪問記念の碑」除幕式を行いました。除幕式には、カナダ・バンクーバー在住の長谷川暁子氏（長谷川テルの長女）も、駆けつけて祝辞を述べていただきました。以来毎年、長谷川テル訪問記念の碑」碑前祭を行っています。また、この4月、ブックレット『長谷川テル 戦火の中国で自由と平和を求めたエスペランチスト』を刊行いたしました。

2018年8月25日、私たちは黒竜江省佳木斯市によって建立され手厚く葬られている長谷川テルと夫劉仁の墓参を行い佳木斯市外事办公室長らと懇談したこともございます。

日中不再戦の誓いを固め、北東アジアの平和の確立に貢献

長谷川テルが日本人女性として中国に渡り、抗日反戦を訴え続けたことは、輝かしい史実であり、日本と中国両国民の真の友好・交流の重要な架け橋であると考えます。

中国・佳木斯市では、墓碑が建立され手厚く葬られており、佳木斯市立博物館などで長谷川テルの展示コーナーも設置され事績は顕彰されています。また、貴国では緑川英子として、北京、哈爾濱など縁の各地でも顕彰されています。日本でも、長谷川テルは、エスペラント協会、日中友好協会、奈良女子大学卒業生有志らによって顕彰されてきました。

1927年には、日本帝国主義政府の山東出兵に対して、私たちの先人は「対支非干渉運

動」全国で展開しました。私たちの奈良県でも「対支非干渉同盟奈良地方同盟」を結成して運動が繰り広げられました。1932年当時も奈良県でも、貴国に対する侵略戦争に対して「強盗的侵略戦争反対」と運動が広がっていました。

侵略戦争に反対し平和と国民主権を主張した人々は、売国奴・国賊・非国民と罵られ治安維持法によって弾圧されました。長谷川テルは、治安維持法によって弾圧された数十万人の一人です。奈良女子高等師範学校を退学させられた後、中国から留学していた劉仁とエスぺラントを通じて出会い結婚しました。長谷川テルは、反日抗戦のために一足先に帰国した劉仁の祖国・中国に自らも渡り、共に侵略と戦うことを決意し、1937年4月中国・上海に渡航し、戦火の中国で生涯その意思を貫きました。

武漢・重慶訪問団の構成について

今回の武漢・重慶訪問団は、冒頭に申し上げた通り、「奈良・長谷川テル顕彰の会」が呼びかけ、日中友好協会大阪府連合会、同奈良県支部、大阪・長谷川テル顕彰の会、奈良エスぺラント会、治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟奈良県本部、同大阪府本部、奈良県アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会、同大阪府連帯委員会等の諸団体が協賛しています。

＜訪問団の構成＞

団長・竹森浩俊 副団長・西田千津
事務局長・田辺実 事務局次長・平松悦雄
訪問団合計人数 29名（武漢訪問時は26名）

＜懇談・交流希望日時＞

10月16日（木）午後5時頃～ 夕食を共にしながらの懇談・交流を希望しています。
会場は重慶市内のレストランを予定しています。

致重庆世界语协会 公启

关于请求安排重庆访问期间进行交流座谈的函

2025年9月1日

长谷川照子纪念之旅 武汉・重庆访问团
团长 竹森浩俊

此次由日本奈良・【奈良・长谷川照子显彰会(功绩彰扬会)】(有关介绍见下文)发起组织了“第二次日中不再战 缅怀长谷川照子(绿川英子)访问中国的访问团,我是访问团的团长竹森浩俊。我们计划于2025年10月13日至19日访问武汉和重庆,期间希望正式拜会贵协会,特此致函。

重庆市是世界语者长谷川照子(中文名:绿川英子)于1938年至1945年居住的城市。她在此多方位开展活动,既向日军呼吁抗日反战,又通过世界语向世界传播日军在

中国的暴行。在重庆我们计划参观绿川英子·刘仁旧居、《反攻》杂志社旧址、特园、国际宣传处遗址等。同时安排与重庆大轰炸受害者进行座谈，并计划拜会重庆市人民对外友好协会。

在武汉，我们还安排了与武汉世界语协会的交流座谈。

通过此次访问，我们旨在秉持日中永不再战的立场，就昔日日军侵略中国造成重大灾难表达诚挚歉意，并期望促进两国国民层面的深入交流。

现将我会概况及宗旨陈述如下，衷心恳请贵会给予交流洽谈的机会。

奈良·长谷川照子显彰会(功绩彰扬会)简介与活动宗旨

在 1930 年代至二战期间日军侵略中国及亚洲各国，实施殖民统治，造成无数伤亡与难以言表灾难的黑暗时期，世界语者长谷川照子（中国名：绿川英子）毅然赴华，以日本女性身份向日本士兵发出抗日反战呼吁。本会长期致力于彰扬其功绩。

我们坚信通过研究长谷川照子事迹、学习传承其思想精髓、并推动民间层面的真正日中友好，必将会实现日中不再战的誓言，为东北亚和平建设事业作出贡献。

长谷川照子以日本女性身份赴华坚持抗日反战，是光辉的历史事实，已成为连接两国国民真正友好交流的重要桥梁。

长谷川照子曾就读于奈良女子高等师范学校，因反抗当时军国主义日本的压迫性社会体制，开始与当时的工人运动、农民运动有了接触。就在这一时期（1932 年 9 月），她因涉嫌违反《治安维持法》遭逮捕，并被该校强制勒令退学。

本次访问的组织团体【奈良·长谷川照子显彰会(功绩彰扬会)】成立于 2017 年 5 月 26 日。在全国众多人士支持下，我们于 2023 年 4 月 30 日在古都奈良的般若寺境内举行了“长谷川照子访纪念碑”揭幕仪式。旅居加拿大温哥华的其长女长谷川晓子女士亦专程出席致辞。此后我们每年举行碑前祭活动，并于今年四月出版了《长谷川照子：在战火中国追求自由与和平的世界语者》纪念文集。

2018 年 8 月 25 日，我们组织了第一次访中活动，前往黑龙江省佳木斯市祭扫了由当地政府修建的长谷川照子与丈夫刘仁的烈士墓，并拜会了佳木斯市及与市外事办公室并进行了座谈。

巩固日中不再战誓言，贡献东北亚和平建设

长谷川照子以日本女性身份赴华坚持抗日反战，是光辉的历史事实，已成为连接两国国民真正友好交流的重要桥梁。

在中国佳木斯市，不仅建有墓碑供人瞻仰，佳木斯市博物馆还设有专题展区彰扬其事迹。

此外在北京、哈尔滨等与其渊源深厚之地，均以“绿川英子”之名受到纪念。日本国内亦通过世界语协会、日中友好协会及奈良女子大学校友等渠道持续传承其精神。

1927 年日本帝国主义出兵山东时，我们的前辈就在全中国展开“对华不干涉运动”，奈良县

亦成立地方同盟开展斗争。即便在 1932 年，奈良县内也涌现出反对侵华战争的“反强盗式侵略战争”运动。

在日本那些反对侵略战争、主张和平与国民主权的人士，当年被斥为“卖国贼”“非国民”，遭受《治安维持法》残酷镇压。长谷川照子正是数十万受迫害者之一。被奈良女子高等師範学校开除后，她与留日中国学生刘仁通过世界语的交流相识并结婚，最终毅然追随先期返华抗日的丈夫，于 1937 年 4 月赴上海，在战火纷飞的中国坚守信念直至生命终点。

武汉・重庆访中团人员构成

本次访问团由“奈良・长谷川照子显彰会（功绩彰扬会）”发起，并获日中友好协会大阪府联合会、奈良县支部、大阪长谷川照子显彰会（功绩彰扬会）、奈良世界语协会、治安维持法牺牲者国家赔偿要求同盟奈良县本部/大阪府本部、奈良县亚非拉团结委员会、大阪府团结委员会等多团体协办。

＜访问团组成＞

团长：竹森浩俊 副团长：西田千津

事务局长：田边实 事务局次长：平松悦雄

访问团总人数：29 名（武汉访问期间为 26 名）

＜恳谈交流希望时间＞

10 月 16 日（周四）下午 5 时起 希望共进晚餐并进行座谈交流 场地预定于重庆市内餐厅

6 様々なスタイルでの「碑」訪問・発信続く

長谷川テルの事績については、戦後 80 年間様々な分野・領域で語り継がれてきました。ここでは、2023 年 4 月 3 日の「長谷川テル訪問記念の碑」除幕式以来、全国ですめられてきた様々なスタイルでの長谷川テルの事績の発信、「碑」訪問を、その規模の大小を問わず、事務局に報告された内容を報告いたします。

これまで、国内ばかりでなく、中国・重慶、カナダ・トロント、イギリス・オックスフォード大学そして韓国のエスペランチストが碑を訪問していただいています。これまで、決して多くはありませんが、韓国からの訪問者は「長谷川テルの碑は有名だ」と言っていますので、今後も引き続き海外からも訪問をしていただけると期待しています。

135 までは、4 月に開催した第 2 回碑前祭（「第 2 回碑前祭資料集」）で報告しまし

たので、その後の分を報告します。

- 136 「長谷川テルや沖縄の経験に学ぶ」との見出しで、2025年1月27日に行われた婦人民主クラブ東京支部協議会主催の「新春のつどい」での宮城恭子会長の講演を一面で報道。（「婦民新聞」2025年2月20日）
- 137 「第2回日中不再戦 長谷川テル顕彰の旅 武漢・重慶6泊7日」の企画チラシ発送。（奈良・長谷川テル顕彰の会 旅行社JU観光 2025年10月13日発 2025年4月13日）
- 138 「『長谷川テル訪問記念の碑』碑前祭 第2部は記念講演全国交流集会を開催」と報道。（日中友好新聞 大阪府連通信 2025年5月15日）
- 139 「日中戦争下の中国現地 日本将兵に反戦を訴えた日本人女性・長谷川テル」展示。「アジアから問われる日本の戦争展で。（日中大阪府連 2025年5月4～5日、大阪市阿倍野市民学習センター）
- 140 奈良蟻の会合唱団 「希望の鳩 ヴェルダ・マーヨー長谷川テルの歌」を第73回関西エスペラント大会で合唱する。（2025年6月29日 ビッグ・アイ（国際障害者交流センター 大阪府堺市）
- 141 「毎日新聞長谷川テルを特集～中国の戦場で日本兵に『反戦放送』」と報道。（元都留市議・小林義孝氏が投稿 日中やまなし通信 日中友好協会山梨支部 2025年4月1日）
- 142 『治安維持法100年』刊行。「エスペランチスト・長谷川テルー日中友好のかけはしとなって」（西田千津氏、田辺実氏）寄稿を収録。（大月書店 2025年3月31日 荻野富士夫・歴史教育者協議会編）
- 143 第2回「長谷川テル訪問記念の碑」碑前祭。（奈良・長谷川テル顕彰の会主催 2025年4月13日 於般若寺境内 ホテルリガーレ春日野）
- 144 「長谷川テル訪問記念の碑・建碑2周年 今 なぜ長谷川テルか」と題する論文掲載される。（田中澄江氏 『治安維持法と現代』2025年春季号）
- 145 「大人の修学旅行 in 奈良・京都」で「長谷川テル訪問記念の碑」訪問（2025年4月17～19日 西田千津氏、西久美子氏が案内）
- 146 「10月・テル足跡の旅 武漢・重慶へ」と「長谷川テル通信」が報道。（大阪長谷川テル顕彰の会 2025年5月1日）
- 147 「エスペラント版『長谷川テル選集』について」を掲載。（寺島俊穂氏 La Movado 2025年5月号）
- 148 英語版『長谷川テル作品集』出版書評を掲載。（ザ・ジャパン・タイムズ 2025年5月17-18）
- 149 英語版『長谷川テル作品集』刊行（アダム・クプロウスキー氏 ハワイ大学出版局 2025年5月）

- 150 大阪・長谷川テル顕彰の会総会開催（2025年5月24日）。（「長谷川テル通信」N05 2025年6月1日）
- 151 「ぷらっとほーむ奈良の集い」で西久美子氏が長谷川テルについて講演。（ブックレット『長谷川テル』を普及 2025年5月28日 奈良市はぐくみセンター）
- 152 「長谷川テル顕彰事業を広げよう 第2回「長谷川テル訪問記念の碑」碑前祭」と報道。（日中友好新聞2025年6月1日）
- 153 「長谷川テルの青春 望郷の星」上映会。（主催 憲法9条を守る伊都・橋本連絡会 協賛 日本中国友好協会和歌山県連合会 2025年6月7日 伊都教育会館）
- 154 「長谷川テル訪問記念の碑第2回碑前祭」を報道・（La Movado 6月号 竹森浩俊氏投稿）
- 155 雑誌『女性のひろば』が「長谷川テル訪問記念の碑」を取材。（宮城恭子会長らが同行2025年6月13日）
- 156 「泉北9条の会で長谷川テルを語る」と題して報道。（浅田美奈子氏投稿 日中友好深部大阪府連通信 2025年6月15日）
- 157 「長谷川テルは、ますます光輝く存在だ！」と題する、ブックレット『長谷川テル』を詳しく紹介。（大類善啓氏 『愛善世界』 2025年6月号）
- 158 長谷川テルの青春「望郷の星」上映会。（橋本市 日中友好協会和歌山県本部 2025年6月）
- 159 「エスペラント版『長谷川テル選集』を刊行。（寺島俊穂氏 日本えすっぺラント図書刊行会 2025年6月）
- 160 奈良蟻の会合唱団が「希望の鳩 ヴェルダ・マーヨー-長谷川テルの歌」を合唱。（2025年6月29日、「第73回関西エスペラント大会」、堺市）
- 161 エスペラント版『長谷川テル選集』刊行。（寺島俊穂 日本エスペラント図書刊行会 2025年6月28日）
- 162 ベトナム人・掘庸師氏が「テル訪問記念碑」を訪問。（坂口紀代美氏が案内 2025年6月28日）
- 163 「謎解き長谷川テル——エスペラント版『長谷川テル選集』に寄せて」と題して寺島俊穂氏が、講演。（2025年6月29日、「第73回関西エスペラント大会」、堺市）
- 164 奈良蟻の会合唱団が「希望の鳩 ヴェルダ・マーヨー-長谷川テルの歌」を合唱し、YouTubeで配信される。（関西エスペラント連盟 2025年7月）
- 165 「いまだから知りたい 長谷川テル先輩のこと」（学生自治会 戦後80年・治安維持法100年特別企画）。（西田千津氏が講演 奈良女子大学自治会 奈良女子大学自治会主催 2025年7月9日）
- 166 長谷川テルのパネル展示（平和のための奈良市戦争展 2025年7月30～8月3日 奈良市生涯学習センター）

- 167 「医師として、反戦平和の想い」と題した講演の中で、長谷川テルの「碑」を紹介。（稲次直樹氏 平和のための奈良市戦争展 2025年8月3日 奈良市生涯学習センター）
- 168 長谷川テルの青春「望郷の星」上映会。（海南本市 日中友好協会和歌山県本部 2025年8月）
- 169 「治安維持法100年・長谷川テルの火を継ぐ」と題して、長谷川テル顕彰の会の取り組みを介。（『女性のひろば』9月号）
- 170 「ブックレット『長谷川テル』のお薦め」が掲載される。（『戦前大阪外語社研問題研究会会報』第7号 2025年7月）
- 171 「希望の鳩 ヴェルダ・マーヨー-長谷川テルの歌」を合唱すると告知チラシを配布・（ピースコンサート合唱団 2025年7月）
- 172 随想 「反戦平和を貫いた長谷川テルの声を全世界に！」（田辺実氏 『人権と部落問題』2025年8月号）
- 173 教育実践レポート「いま長谷川テルを伝えることの意義」（黒田貴子氏 第76回歴史教育者協議会全国大会 平和教育分科会分科会 2025年8月3日）
- 174 「反戦平和をつらぬいた長谷川テル」と題して講演。（「茨木市非核 平和展」平松悦雄日中友好協会大阪府連理事 2025年8月5日 茨木市文化・子育て複合施設「おに来る」）
- 175 「戦争中 中国本土にて日本兵に平和を発信！」と「堺 平和のための戦争展2025」で日中友好新聞大阪府連版8月号が報道。
- 176 「新しい戦前を許さない！」と題した講演の中で、長谷川テルの活動を紹介する。（稲次直樹社会医療法人健生会名誉理事長 平和のための奈良市戦争展 2025年8月3日 奈良市生涯学習センター）
- 177 「戦争中 中国本土にて日本兵に平和を発信！」と題して展示（堺 平和のための戦争展2025 8月16～17日 サンスクエア堺）
- 178 「戦争中 中国本土にて日本兵に平和を発信！」と題して展示（東大阪市 平和のための戦争展2025 8月23～24日）
- 179 長谷川テルの事績を詳しく紹介するパワーポイント「テル」を制作。（福島県磐梯町の山本俊子氏。2025年8月）
- 180 福島県会津の民主文学会で長谷川テルについて報告（山本俊子氏 2025年8月19日）
- 181 「長谷川テル顕彰碑」を「行基が繋ぐ現代アート—坂口紀代美の彫刻—」展で紹介。（2025年9月2日～9月14日 奈良公園バスターミナル）
- 182 評論家の建畠哲先生と東京南青山の始弘画廊の平山幹子さんが、「テル訪問記念碑」を訪問。（坂口紀代美氏が案内 2025年9月5日）
- 183 韓国のエスペランチスト CHO Myung Ja (Goja)氏と DaeBong Jeon 氏が、長谷川テル

訪問記念碑を訪問。（２０２５年９月１６日 京都エスペラント会の森川和徳氏と奈良エスペラン会の竹森浩俊氏が案内）

184 DaeBong Jeon 氏が、「長谷川テル訪問記念碑を訪問」を f acebook にアップする。

（<https://www.facebook.com/ds2dek> ２０２５年９月１６日）

185 「気骨の反戦家 長谷川テル」と題して毎日新聞（２０２５年９月１８日）が報道。

（「女の気持ちペングループ」の例会で、鵜塚健毎日新聞専門記者が講演 ２０２５年９月１７日）

186 『長谷川テル著作集』が三和書籍から出版される。（長谷川テル研究会編 集責任者：寺島俊穂関西大学元教員編 ２０２５年９月２０日）

7 奈良・長谷川テル顕彰の会のあゆみ

・ ２０１６年３月２７日

「奈良県治安維持法犠牲者追悼のつどい」の取組で、エスペランチスト・長谷川テルの事績の調査・研究・顕彰活動の意義が大きくクローズアップされる。

・ ２０１６年５月２９日

第３０回治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟奈良県本部大会で長谷川テル顕彰事業の推進を決議

・ ２０１６年１２月４日

シンガーソングライターのケイ・シュガー「希望の鳩 ヴェルダ・マーヨー長谷川テルの歌」を発表。治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟奈良県本部創立４０周年記念の集いで

・ ２０１７年５月２０日

第３１回治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟奈良県本部大会で「治安維持法犠牲者・長谷川テル顕彰会（仮称）の奈良県準備会」の結成を呼びかける。

・ ２０１７年５月２６日

奈良・長谷川テル顕彰の会の第一回実行委員会。当時は、「治安維持法犠牲者・長谷川テル顕彰会（仮称）の奈良県準備会」宮城恭子会長（奈良県アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会理事長）として出発。以後、２０２５年８月までに４８回の推進委員会（実行委員会）を行ってきた。

・ ２０１７年１１月４日

「第１回長谷川テルに思いを寄せるつどい」奈良県文化会館、２４名参加。

「長谷川テル」について、平松悦雄氏が「長谷川テルの生涯」と題して講演。

・ ２０１７年１１月６日

「ヴェルダ・マーヨー通信」NO. １を配信。以後、２０２５年７月までにNO. ６３を編集・配信。（不定期刊、希望者にメール配信・無料）

・ ２０１８年３月１７日

奈良蟻の会合唱団が合唱曲「希望の鳩 ヴェルダ・マーヨー長谷川テルの歌」を合唱。
「治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟創立50周年記念集会 in 関西」で（大阪ドーンセンター）。

・2018年6月9日

奈良・長谷川テル顕彰の会結成総会（大和郡山市公民館ホール）、山本恒人氏が「長谷川テル顕彰事業の意義を考える」と題して講演。奈良蟻の会合唱団が合唱曲「希望の鳩 ヴェルダ・マーヨー長谷川テルの歌」を合唱。53名参加。

・2018年8月23日～28日

「日中不再戦 長谷川テル顕彰の旅」（団長・宮城恭子氏）
中国黒竜江省・ジャムス市で、長谷川テル・劉仁夫妻の墓参（8月25日）、25名参加。

・2018年10月12日～14日

奈良市で開催された「第2回日韓合同エスペラント大会」で、長谷川テル顕彰の会との交流集会が開かれる。

・2019年4月27日

顕彰の会実行委員会が般若寺を訪問、工藤良任住職と懇談、長谷川テル顕彰碑設置場所を指示していただく。

・2019年8月1日

「第39回 平和のための京都の戦争展」（7月29日～8月4日）の一環として、8月1日「長谷川テルの生涯―戦時下の重慶から反戦平和のメッセージを伝えた日本人女性―」と題して、山本恒人氏（大阪経済大学名誉教授・日中友好協会大阪府連副会長）が講演。奈良・顕彰の会代表ら8名が参加。

・2019年8月3日

大阪と奈良の長谷川テル顕彰の会が交流。奈良が進める「長谷川テル顕彰碑」と、大阪がすすめる『長谷川テル日本語版全集』の刊行などについて相談（奈良市）。

・2020年2月6日

宮城恭子会長ら実行委員会代表が石材店、看板業者を訪問。顕彰碑建立などについて相談。

・2020年11月8日

「奈良・長谷川テル顕彰の会」第2回総会。「記念碑」「説明板」の建立の行程表（ロードマップ）案を提案。来賓として、大阪・長谷川テル顕彰の会を代表して平松悦男さん、『松花江の流れのように』の著者内藤玲子さん、「La Movado」（エスペラント協会の会報誌）に、「地球の裏で長谷川テル」と題したエッセイを書かれた宮本義人さん、奈良教育大学に学び、同大学院修士課程を卒業された書作家で、「ヴェルダ・マーヨ通信」に「京都・平安郷開拓団調査会」中国東北の旅の紀行文を寄稿した井口和氏、関西エスペラント連盟前理事長の田熊健二氏の5名から挨拶を受ける。「長谷川テル顕彰碑建立目指

して「奈良・長谷川テル顕彰の会第2回総会のしおり」、「第2回奈良・長谷川テル顕彰の会総会報告集」を作成。溝口隆徳氏に、DVD「第2回奈良・長谷川テル顕彰の会総会」を作成していただく。

・2020年12月11日

第19回推進委員会で「記念碑」「説明板」の建立の行程表（ロードマップ）を決定。

・2021年10月5日

奈良・長谷川テル顕彰の会事務局が彫刻家・坂口紀代美アトリエを訪問、「長谷川テル訪問記念の碑」の制作を要請、快諾を得る。坂口氏、2022年1月22日、般若寺を訪問、工藤良任住職にあいさつ、「碑」建立予定地を訪れ用地の状況を測定。

・2021年10月

長谷川テル訪問記念の碑」建立に当たって、奈良・長谷川テル顕彰の会は、「『長谷川テル訪問記念の碑』建立募金活動の開始にあたって訴えます」を発表。

・2021年11月28日～29日

王希奇「一九四六」高知展鑑賞バスツアー。24名参加 「方正友好交流の会」理事長の大類善啓さんとの交流、香芝市でNP0を主宰している西嶋拓郎さん、葫蘆島からの引揚者・天理市の前田岩男さんらと新たな交流始まる。

・2022年1月17日

奈良・長谷川テル顕彰の会ホームページ（HP：<https://ikut6202.wixsite.com/my-site>）を開設。

・2022年3月26日

「一般社団法人坂口紀代美記念館 第2回講演会」で、長谷川テルの顕彰碑建立について取り上げられる。奈良・長谷川テル顕彰の会から6名、大阪からも、長谷川テルに心を寄せていただいている日中友好協会等（山本恒人氏ら5名）、エスペランティスト・竹村照雄氏も参加。

・2022年4月8日

第3回奈良・長谷川テル顕彰の会総会

・長谷川テルの「碑」建立を誓い合う（4月8日現在の募金の到達は118名から1,159,805円寄せられていることが報告された。）

・「長谷川テル訪問記念の碑」碑文及び「説明板」の文章の基本を確定

・「ロシアは即時ウクライナから撤退せよ！」声明採択

・2022年5月8日

「一般社団法人 坂口紀代美記念館 第二回講演会」について「ヴェルダ・マーヨ通信」NO.36（2022.5.8）に特集

・2022年5月9日

「長谷川テル訪問記念の碑」碑文及び「説明板」の文章の中国語訳を長谷川暁子氏に、エスペラント訳を土居智江子氏に要請。長谷川暁子氏、土居智江子氏が要請に応え、翻訳す

る。

・ 2022年8月22日

西田千津さんの「長谷川テルの鹿地亘宛の手紙について」の講演内容を「ヴェルダ・マー
ヨ通信」N0. 37（2022. 8. 22）に特集。

・ 2022年9月22日

「第3回奈良・長谷川テル顕彰の会総会報告集」編集・発行

・ 2022年11月20日

第1回 長谷川テル研究会開かれる。長谷川テル著作集の作成には、テル研究が不可欠
の前提になるので、長谷川テルの全著作の収集、日本語版『長谷川テル著作集』の公刊を
目標として、長谷川テルに関する研究会が発足（於：日中友好協会大阪府連合会事務
所）。これまでの調査研究を踏まえ、寺島俊穂氏（政治理論）「エスペラント思想家 長
谷川テル」、西田千津氏（中国近現代史）「『戦う中国で』を読む」を報告。

・ 2022年12月23日

『長谷川テル訪問記念の碑』実現めざす追加募金のお願い」（2022年12月）を発
表。 記念碑建立追加募金要請発送。

・ 2023年2月21日

「碑」建立予定地の基礎工事開始。3月15日基礎工事完了。

・ 2023年3月12日

「長谷川テル訪問記念の碑」の除幕式への案内状発送。

・ 2023年3月21日

第2回長谷川テル研究会（於：日中友好協会大阪府連事務所）

・ 2023年4月30日

「長谷川テル訪問記念の碑」除幕式、150名参加。「長谷川テル顕彰事業全国交流集
会」71名参加。

・ 2023年9月9日

第4回奈良・長谷川テル顕彰の会総会

・ 2023年12月23日

奈良・長谷川テル顕彰の会事務局が、長谷川テルらがエスペラントを学んだ宮武正道旧
居を探索

・ 2024年2月15日

事務局が奈良市史料保存館を訪問。宮武家文書の中から、長谷川テルらがエスペラント
を学んだ時の「エル・ナラ」8号などの提供を受ける。

・ 2024年4月20日

第1回碑前祭を挙。行。「今こそ長谷川テルの声を全世界に！」を誓い合う。第1部80
名、第2部（全国交流集会）に50名が参加。

・ 2024年6月9日

1994年滋賀県立長浜北高校演劇部が「1994年滋賀県立高校文化祭」で上演され、翌年地域でも上演された演劇「我が妹 テル」上演関係者と交流。奈良・長谷川テル顕彰の会から9名、長浜市の小野節子さんら10名が参加。

・2024年9月28日

第5回奈良・長谷川テル顕彰の会総会。第2回「長谷川テル訪問記念の碑」碑前祭を2025年4月13日に行うこと、『長谷川テル・ブックレット』の作成、2025年10月に中国・重慶への旅の実施を決定。

・2024年11月9日

エスペ란チスト・アダム・クプロウスキ氏夫妻、「長谷川テル訪問記念の碑」訪問。奈良エスペラント会が案内。奈良・長谷川テル顕彰の会の田辺実事務局長、西久美子氏も同行、歓迎懇親会に14名が参加。

・2025年1月19日

1月19日、毎日新聞が長谷川テルを1面トップと3面を割いて大きく報道する。記事を書いた鵜塚健記者の思いと、記事への反応を「ヴェルダ・マーヨ通信」NO. 58に急遽特集。

・2025年3月14日

毎日新聞の「記者の目」（3月14日）欄で「地続きの『女性抑圧』と『戦争』」「反戦エスペ란チスト長谷川テル」と紹介（鵜塚健記者）

「長谷川テルの信念受け継ぎたい」と、「毎日新聞」（3月25日）の「みんなの広場」欄に、長崎県介護支援専門員 丸尾典子（64）氏の投書を掲載。

・2025年3月28日

ブックレット「長谷川テル 戦火の中国で自由と平和を求めたエスペ란チスト」を刊行

・2025年4月13日

第2回「長谷川テル訪問記念の碑」碑前祭を開催。黒田貴子氏が、「中学生の心をとらえた長谷川テルの生き方」と題して記念講演を行いました。碑前祭には98名、全国交流集会には74名が参加しました。

・2025年8月

『女性のひろば』誌が、シリーズ「戦後80年いま・未来・わたくしたちの進む道」⑦で「治安維持法100年 長谷川テルの火を継ぐ 奈良・長谷川テル顕彰の会の皆さん」と題して、詳しく報道。「しんぶん赤旗」日刊紙、および日曜版で繰り返し広告・宣伝。

・2025年10月5日

第6回長谷川テル顕彰の会総会、および「ブックレット『長谷川テル』合評会。

8 奈良・長谷川テル顕彰の会会則の改定

奈良・長谷川テル顕彰の会会則（現行）

2023年9月9日

1 会の名称・発足及び会員

本会の名称を「奈良・長谷川テル顕彰の会」と称する（以下「会」する）。本会は2017年5月26日、「治安維持法犠牲者・長谷川テル顕彰会（仮称）の奈良県準備会」として発足し、2018年6月9日結成総会を行い現行の名称に改称した。会の目的に賛同し会費を納入する人を会員とする。

2 会の目的

奈良女子高等師範学校に学び、1932年9月、治安維持法によって検挙され、同校を退学させられたが、エスペランチストとして抗日反戦を訴え続けた長谷川テルの事績を調査・研究・顕彰し、市民レベルの日中友好・親善事業を推進する。また、世界のエスペランチストとの交流をすすめる。

3 会の主な事業

会の目的を達成するために次の事業を推進する。

- i) 資料の収集に努力し、調査・研究を進める。
- ii) 般若寺境内に「長谷川テル訪問記念の碑」が建立されたことを国内外に広く広報し、訪問・見学を呼びかける。
- iii) 「日中不再戦・長谷川テル顕彰の旅」など、中国や国内の長谷川テルの足跡をたどる旅を企画・実行する。
- iv) 学習会、映画上映会、合唱曲の発表会、書籍の編纂・刊行などを順次実行する。
- v) 全国各地で進められる長谷川テルの顕彰活動と協力・共同して調査・研究をすすめ顕彰事業を進める。

4 会の総会、役員、事務局

年に一回総会を開き、取り組みを総括し新年度の方針を決定する。

会の運営を図るため、推進委員会を置き、会長、事務局長、会計、会計監査を選任する。

推進委員会のもとに事務局を置き日常の業務を執行する。

事務局は、事務局長宅に設置する。

5 会の会計

会の会計は、会員が納入する会費（年会費2,000円）と募金によって賄う。会計年度は1月1日～12月31日とする。

6 付則

その他、会の運営に必要な事項は推進委員会で決める。

会則制定日 2018年6月9日。

一部改正 2020年11月8日。

一部改正 2023年9月9日。

以上

会の事務局

〒630-8442 奈良市北永井町277-3

田辺 実宅 (☎/ F 0742-61-7194)

Email: tanabe66@amber.plala.or.jp

奈良・長谷川テル顕彰の会会則（改定案）

2025年10月5日

1 会の名称・発足及び会員

本会の名称を「奈良・長谷川テル顕彰の会」と称する（以下「会」する）。本会は2017年5月26日、「治安維持法犠牲者・長谷川テル顕彰会（仮称）の奈良県準備会」として発足し、2018年6月9日結成総会を行い現行の名称に改称した。会の目的に賛同し会費を納入する人を会員とする。

2 会の目的

奈良女子高等師範学校に学び、1932年9月、治安維持法によって検挙され、同校からの退学を余儀なくされたが、エスペランチストとして抗日反戦を訴え続けた長谷川テルの事績を調査・研究・顕彰し、市民レベルの日中友好・親善事業を推進する。また、世界のエスペランチストとの交流をすすめる。

3 会の主な事業

会の目的を達成するために次の事業を推進する。

- i) 資料の収集に努力し、調査・研究を進める。
- ii) 般若寺境内に「長谷川テル訪問記念の碑」が建立されたことを国内外に広く広報し、訪問・見学を呼びかける。
- iii) 「日中不再戦・長谷川テル顕彰の旅」など、中国や国内の長谷川テルの足跡をたどる旅を企画・実行する。
- iv) 学習会、映画上映会、合唱曲の発表会、書籍の編纂・刊行などを順次実行する。
- v) 全国各地で進められる長谷川テルの顕彰活動と協力・共同して調査・研究をすすめ顕彰事業を進める。

4 会の総会、役員、事務局

年に一回総会を開き、取り組みを総括し新年度の方針を決定し、役員と会計監査を選出する。会の役員は、推進委員とし、会の運営にあたる。推進委員は、会長、事務局長、事務局次長、会計を互選する。

推進委員会のもとに事務局を置き日常の業務を執行する。会の所在地を会長宅に、事務局は、事務局長宅に設置する。

5 会の会計

会の会計は、会員が納入する会費（年会費 2,000 円）と募金によって賄う。会計年度は 1 月 1 日～12 月 31 日とする。

6 付則

その他、会の運営に必要な事項は推進委員会で決める。

会則制定日 2018 年 6 月 9 日。

一部改正 2020 年 11 月 8 日。

一部改正 2023 年 9 月 9 日。

一部改正 2025 年 10 月 5 日

以上

会の事務局

〒630-8442 奈良市北永井町 277-3

田辺 実宅 (☎/ F 0742-61-7194)

Email: tanabe66@amber.plala.or.jp

会則の改正について

昨年来、奈良・長谷川テル顕彰の会の会則上の役員とはなにかについて、疑問が起こり議論となってきました。

奈良・長谷川テル顕彰の会が発足時、会員は少数で役員の特に規定はなく、会長及び事務局長を決め、顕彰事業を進めてきました。

この間、「碑」の建立が実現し、ブックレットの刊行など顕彰事業が確実に進められてきました。また、会員も 40 名に拡大し、取り組む課題も多面的に発展しています。

今日、多面的顕彰事業の推進と大きく発展しつつある会にふさわしい、役員体制の確立が求められています。

奈良・長谷川テル顕彰の会の発足の根拠と組織の性格

奈良における「長谷川テル顕彰の会」は、長谷川テルが奈良女子高等師範学校に学び治安維持法違反容疑で検挙され退学を余儀なくされた舞台となった奈良県で、治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟奈良県本部が、長谷川テルの顕彰事業を提唱することによって発足しました。同時にエスペランティストである長谷川テルが、中国に渡り日本人女性として抗日反戦に生涯をささげられたこと、日本軍の蛮行を全世界に発信されたこと、これらの内容が『作品集』としてまとめられていることなどに、多面的に光を与え顕彰事業を推進してきました。

また、顕彰の会は会則に明記されているように、奈良・長谷川テル顕彰の会は、顕彰事業を様々な角度から発展させるなかで、2023 年 4 月に「長谷川テル訪問記念の碑」建立と

除幕式、2025年の第2回碑前祭に際してブックレット『長谷川テル』を刊行することなどを軸に顕彰事業の総合的な発展をめざしてきました。治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟奈良県本部、日中友好協会、奈良エスペラン会などの諸団体の理解と協力をえながら、組織としては個人参加の団体として発展してきました。つまり、長谷川テル顕彰事業において、特定の課題に特化した団体ではなく、顕彰事業を総合的・多面的に推進する個人参加の団体として発展していることが重要な特徴です。

9 奈良・長谷川テル顕彰の会呼びかけ人の皆さん

(2020年3月6日現在、アイウエオ順)

奈良県及び奈良女子大学卒業生を中心に(35人)

- 稲次 直樹(社会医療法人健生会名誉理事長、奈良県)
上田 友彦(エスペランチスト 大和郡山市)
大谷 泰子(奈良女子大学卒業、和歌山県)
小笠原 淳子(奈良女子大学卒業、愛知県)
奥西 正史(治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟奈良県本部国際部長代行)
奥野 つね子(子どもと教科書奈良ネット21事務局長)
加藤 宣之(治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟奈良県本部事務局長)
神林 規子(奈良女子大学卒業、日本民主主義文学会会員、大阪府)
岸下 あづみ(奈良女子大学卒業、京都府)
工藤 良任(般若寺住職)
黒田 貴子(奈良女子大学卒業、歴史教育者協議会、東京都)
越山 のぶ子(治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟奈良県本部理事
・治安維持法犠牲者遺族)
正田 幸子(奈良女子大学卒業、
奈良女子大学助教授を経て武庫川女子大学教授、埼玉県)
島尻 永司(東京高等師範学校卒業、岐阜県)
島尻 尚子(奈良女子大学卒業、岐阜県)
田中 郁(奈良女子大学卒業、奈良蟻の会合唱団所属)
田中 澄江(詩人会議会員)
田中 輝男(奈良蟻の会合唱団団長)
田辺 実(治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟奈良県本部顧問)
田畑 昭子(元奈良蟻の会合唱団団員)
樽井 幸一郎(子どもと教科書樞原ネット21事務局長)
土居 智江子(奈良女子大学卒業、エスペランチスト、神奈川県)
西 久美子(奈良女子大学卒業、奈良県)

西田 千津（奈良女子大学博士課程単位取得退学、京都府）
平井 富勝（日中友好協会奈良支部会員）
福嶌 繁男（奈良県葛城市ぞうさんの家事務局長）
藤井 聖仁（浄土真宗本願寺派明光寺住職・奈良宗教者平和協議会副理事長）
北條 薫（歴史教育者協議会 東京都）
溝川 悠介（大阪府立大学名誉教授・奈良県平和委員会代表理事）
宮城 恭子（奈良県アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会理事長）
山下 善昭（日中友好協会奈良支部会員）
山田 麗子（歴史教育者協議会）
由井 鈴枝（奈良女子大学卒業、千葉県 故人）
吉住 久子（元小学校教員、奈良県）
吉本 憲司（奈良県教職員組合執行委員長）

大阪府関係（13人）

日中大阪府連

小林 徳子（日中友好協会大阪府連合会副会長）
平松 悦雄（日中友好協会大阪府連合会常任理事）
松尾 豊（日中友好協会大阪府連合会理事長）
山本 恒人（つねと）（日中友好協会大阪府連合会副会長 大阪経済大学名誉教授）
渡辺 武（たける）（日中友好協会大阪府連合会会長）

国賠同盟大阪府本部

有川 功（治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟大阪府本部長）
大石 喜美恵（治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟大阪府本部副会長・全国女性部長）
佐野 彰義（大阪宗教者平和協議会理事長）
塩田 一行（治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟大阪府本部事務局長 故人）
眞殿 天童（治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟大阪府本部事務局次長）

大阪その他

坂手 日登美（演出家 大阪府八尾市）
澤田 和也（『長谷川テル』共同執筆者、フォトグラファー）
山崎 亮一（せせらぎ出版社長、『長谷川テル』を出版）

東京都・千葉県・群馬県など（4人）

小高 平男（朝鮮史研究者 千葉県）
高井 隆（同時代社社長 東京都）
橋本 早苗（幼名・佐内、牧師、二宮金次郎・実践研究会代表、
前日本宗教者平和協議会理事長）
藤原 麗子（治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟群馬県本部女性部長）

10 奈良・長谷川テル顕彰の会の役員と推進委員

(2023年9月9日現在)

会長 宮城 恭子 (奈良県アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会理事長)

事務局長 田辺 実 (治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟奈良県本部顧問)

会計 西 久美子 (奈良女子大学卒業、奈良県)

推進委員会の構成員

伊藤 恵美子 (治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟奈良県本部事務局長)

奥西 正史 (治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟奈良県本部国際部長代行)

加藤 宣之 (治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟奈良県本部会長)

越山 のぶ子 (治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟奈良県本部常任理事

・治安維持法犠牲者遺族)

竹森浩俊 (奈良エスペラント会々長)

田中 郁 (奈良女子大学卒業、奈良蟻の会合唱団々員)

田中 澄江 (詩人会議会員・治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟奈良県本部常任理事)

田辺 実 (治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟奈良県本部顧問)

西 久美子 (奈良女子大学卒業、奈良県)

西田 千津 (奈良女子大学博士課程単位取得退学、京都府)

平井 富勝 (日中友好協会奈良県本部会員)

福寫 繁男 (奈良県葛城市ぞうさんの家事務局長)

宮城 恭子 (奈良県アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会理事長)

会計監査 福寫 繁男 (奈良県葛城市ぞうさんの家事務局長)

編集後記

当「第6回奈良・長谷川テル顕彰の会総会資料集」には、「第6回奈良・長谷川テル顕彰の会総会への報告と提案」、会則の「改正案」など、第6回総会に関わる諸議案だけでなく、4月13日に開催した第2回碑前祭での来賓の方々の祝辞と第2回碑前祭の「まとめ」、「奈良・長谷川テル顕彰の会のあゆみ」等も収録いたしました。

また、様々なスタイルでの「碑」訪問・発信が続いている状況を事務局が把握している内容をまとめて掲載しています。それは、私たちが今後取り組む諸事業が、奈良・長谷川テル顕彰の会が2017年に発足して以来の歩みを踏まえ、差し当たっての諸事業の取り組みの方向を編み出し、2027年に迎える「長谷川テル没後80年記念事業」の構想を検討・策定し推進する土台となるからです。

また、「ブックレット『長谷川テル』「合評会資料集」を別途編纂しました。これは、当「資料集」と一体のものです。

ブックレット『長谷川テル』の合評会を第6回総会の機会に開きますが、総会を一応終えてから開くということで、別建てにしたものです。

当総会「資料集」と、ブックレットの合評会「資料集」を合わせて活用していただくことを期待いたします。

2025年10月5日

奈良・長谷川テル顕彰の会
事務局一同

第6回奈良・長谷川テル顕彰の会総会資料集

2025年2025年10月5日

連絡先

奈良・長谷川テル顕彰の会事務局

〒630-8442

奈良市北永井町277-3

田辺 実方

☎/F 0742-61-7194

Email tanabe66@amber.plala.or.jp